

中学生用資料

「中学生応援米」事業

特産品等消費拡大「子育てするなら西予応援米」事業

①事業内容：市内の中学生全員に、市内お米生産者の心のこもった
美味しい令和7年産の新米（玄米）20kgをプレゼント

キャッチコピー：「セイいっぱい、米いっぱい、つなげる西予の応援米」

②事業目標 = 生産者（お米農家）と消費者（中学生）がお米を通じて「つなげる」こと！

目標解説

①お米を提供いただく生産者の皆さんには、この事業を通じて、自分たちが育てた**自慢のお米の**おいしさや**農業の大切さ**を将来を担う子どもたち**にPR**してほしい。

②生産者の想いが詰まったお米を受け取った中学生には、**西予市のお米の素晴らしさに目を向けて**もらいたい。さらに中学生が農業体験に参加することで、**地産地消、農業への関心、郷土愛**が深まり、将来西予市に帰って来てもらいたい。

③米価格が高騰する中で、この機会に、ご家庭で**お米の価格形成問題**、特に生産者と消費者との対話の必要性を考えていただきたい。



出典：R7.6.21日本農業新聞【米価格形成】（国、農家、消費者みんなで主食を守ろう）

③事業目的

※目的の大きな柱は、下記の3つ

その① 【特産品消費拡大】	<u>西予市産米のPR・消費拡大・販売促進</u> 水田広がる宇和盆地、棚田が多い山間部の野村、城川地域、いろんな環境で育ったたくさんのお米をPR！
その② 【子育て応援】	<u>物価高騰による子育て世帯への経済的支援</u> 食べ盛り、育ち盛りの中学生の皆さんに、美味しいお米をたっぷりプレゼント
その③ 【シビックプライド育成】	<u>米の地産地消と農業体験を通じた郷土愛の醸成</u> 地元のお米を身近に感じてもらい、ふるさとへの理解を深め、愛着や誇りを育んでもらいたい！

④お米を提供いただく「お米生産者」の紹介

- ☐ 提供いただく生産者はたくさんいて、情報もいっぱいいるので、西予市ホームページで紹介しています。下記QRコードを読み取り、確認してください！

※生産者の顔写真、提供いただくお米の品種、生産者からのメッセージなど、情報満載です。

下記をクリック↓ 西予市ホームページ（中学生応援米生産者紹介 記事URL）

https://www.city.seiyo.ehime.jp/kakuka/sangyo_kensetsu/nogyo_suisan/nogyou/farmer/17533.html



⑤集まったお米「全8品種」の紹介

- ☐ 中学生の皆さんにプレゼントするお米は、西予市内30人以上のお米生産者から、提供いただきます。
必要量15トン（20キロのお米×750人分）に対して、**全8品種、24.5トンのお米が集まりました。**

 品種名	お米の特徴	市内生産者から 提供申出のあった 数量24.57トンの内訳
コシヒカリ	日本で最も多く作られているお米の品種で、粘りが強く食味に優れています。	18.75トン
にじのきらめき	真夏の異常な高温でも品質が落ちにくい 高温耐性に優れた 品種です。虹のように多彩な特性を持つこととご飯が艶やかであることから命名。	2.51トン
ひめの凜 check 下記をクリック！ 愛媛のブランド米「ひめの凜」について - 愛媛県庁公式ホームページ	愛媛県農林水産研究所が16年の歳月をかけて約31,000個の中から選抜し、2019年に誕生した 愛媛県のオリジナル 品種です。美味しいだけでなく、夏の暑さに強く、収量が多くて栽培しやすいという三拍子揃った品種です。	1.08トン
にこまる	ヒノヒカリをもしのぐツヤと粘りで、その名のとおり、 笑顔がこぼれる ほどおいしく、丸々とした粒張りの良さが自慢	0.72トン
ヒノヒカリ	愛媛県で最も作付けされている品種で、コシヒカリから受け継いだ粘りと愛媛の温暖な「陽」を受けて育った良食味米	0.7トン
あきたこまち	もちもちとした粘り のある食感で、おにぎりなど冷めてもおいしい品種	0.3トン
とねのめぐみ	ねばりが強く ふくよかな食味 が特徴	0.3トン
ヒカリ新世紀	コシヒカリの良味を 99%引き継いだ お米	0.21トン

⑥農業体験「全7コース」の紹介

- お米づくりを通じて、農業の素晴らしさや、大切さを学べる全7コースの**農業体験**を用意しましたので、市ホームページに掲載の**農業体験募集チラシ**（下記QRコード）をみてぜひご参加ください。※農業体験参加生徒には、さらに体験農家の**お米10kgをプレゼント**します。体験内容は西予市ホームページ（農業体験募集記事URL）こちらを→[クリック](#)又は下記QRコードを読み取ってください。



特徴	指導者	日時	場所	定員
田んぼダム 減災学習	清沢保全協議会	8月21日（木） 午前10時～12時	宇和町 中川	20名
青年後継者交流	宇和町青年 農業者連絡協議会	10月18日（土） 午前10時～12時	宇和町 下松葉	10名
棚田保全 減農業学習	福原純一さん	8月30日（土） 午前10時～12時	城川町 岩本	10名
専業農家 醍醐味体感	もとき農園	9月14日（日） 午前10時～12時	宇和町 伊賀上	3名
田んぼプロ集団と 米どころ西予の産地PR	田力本願 株式会社	11月15日（土） 11月16日（日） 午前8時～午後5時頃	松山市	各日 6名
「集落営農法人」での キャベツ定植体験	農事組合法人 加茂ファーム	8月20日（水） 午前10時～12時	宇和町 加茂	3名
小規模農家を支える 農作業請負人から学ぶ	浅野農園	9月27日（土） 午前10時～12時	城川町 魚成	3名

⑦お米「受取会場」のご案内



場 所	日 時	メ モ
(宇和会場) 西予市役所	11月 29 日 (土) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 11月 30 日 (日) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	
(野村会場) 野村支所 他 2 会場	11月 29 日 (土) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	惣川、大野ヶ原地区 は、地域づくり活動 センターで配布
(三瓶会場) 三瓶支所	11月 29 日 (土) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	
(城川会場) 城川支所	11月 29 日 (土) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	
(明浜会場) 明浜支所	11月 29 日 (土) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	

⑧お米を受け取る（農業体験申込）までの流れ

手 順	内 容	メ モ
(1) 事業の目的を知る	お米を受け取る申込の前に、 まずは「 この資料 」を読んでください！	
(2) お米を受け取る日、受取場所を決め、申し込む 【全員お申し込みください】	保護者と相談の上 、別途お知らせしている専用の申込フォームより、申し込んでください。	申込締切 7月28日（月）まで
(3) 農業体験を申し込む 【希望者のお申し込みください】	まずは、募集チラシをみてください。 その後、自分にあった農業体験を選択し、別途お知らせしている専用の申込フォームより、申し込んでください。	申込締切 7月28日（月）まで  農業体験チラシQRコード
(4) お米を受け取る	申し込んだ受取日、受取場所に保護者と一緒に来て、好みのお米を選んで、受け取ってください。	
(5) お米の味、感想を報告	あなたの意見を、いっぱい聞かせください。	お米配布後に、依頼します



⑨事業の目的を達成するために

「西予市が工夫したこと」

- ☐ この事業を応援してくださる協賛団体を募集 → 応援団体名はプレゼントするお米袋に記載します！
- ☐ 皆さんにプレゼントするお米の袋、**セイ！いっぱい！西予市！オリジナルパッケージ**を製作
- ☐ 宇和高校生とのコラボ → 宇和高校の先輩が作ったお米もあります。
- ☐ フードドライブ → お米配布不要の場合は申込時に寄付を選択、そのお米は子ども食堂等に寄付します。
- ☐ 配布するお米を「**玄米**」にしたこと↓

※生産者の皆さんから**アドバイス**をもらい、お米を**より美味しく**味わっていただくため、**玄米**としました。**自分で精米**して、**つくたての新鮮なお米**を味わってください。（市内精米機での精米料金は100円/10kg）

- ☐ 市役所で直接手渡しすること → お米は、自分の**お好みの品種**が選べます。（先着順）
- ☐ テレビや新聞にこの事業をPR → 自慢したくなるふるさとを目指し、**米どころ西予をアピール**
- ☐ SNSインフルエンサーでもPR
- ☐ 超過米は**ふるさと納税返戻品** → 集まり過ぎたお米は余すことなく**市外の方におすそ分け**します。

集まり過ぎたお米はふるさと納税でも西予応援米として出品されてます！



せいよ
西予市では、物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援し、
地元産米の消費拡大と産地PRを目的に「**特産品等消費拡大事業**」を実施しています。
この取り組みでは、食べ盛りの市内中学生全員に、地元産の新米を**1人20kg**無償で配布。
「**自分たちのお米を子どもたちに食べてほしい**」という生産者の思いから、
必要量を大きく上回る提供が寄せられました。
そこで西予市では、地域の温かなつながりとともに、このおいしいお米を
全国にもお届けしたいと考え、ふるさと納税の返礼品としてご用意しました。
県内有数の米どころで育った令和7年産新米を、ぜひご家庭でご賞味ください。

県内有名インスタグラマー「チチトコ」も応援！



「西予市に協力してくれた方々」

- ☐ お米を提供いただく市内30人以上のお米生産者 →生産者名は市ホームページに掲載（上記QRコード参照）
- ☐ 農業体験を実施いただく市内7つのお米生産者 →生産者名は市ホームページに掲載（上記QRコード参照）
- ☐ 市内農業団体からの協賛金 →お米袋の費用の一部は、この協賛金を使います
- ☐ 西予市食育推進委員 →より美味しく食べられるように栄養士等からアドバイスをもらいます
- ☐ えひめ人口減少対策交付金 →お米代の3分の2は、県の補助金を活用（愛媛県も応援）

⑩メモ

気が付いたことなどを書きましょう。

セイン、
西予市
いっぱい！

